

千葉大学アカデミック・リンク開設10周年記念シンポジウム
2022.3.30

千葉大学アカデミック・リンクの活動 2012-2021

竹内 比呂也

千葉大学副学長（学修支援），アカデミック・リンク・センター長，附属図書館長，
大学院人文科学研究院教授

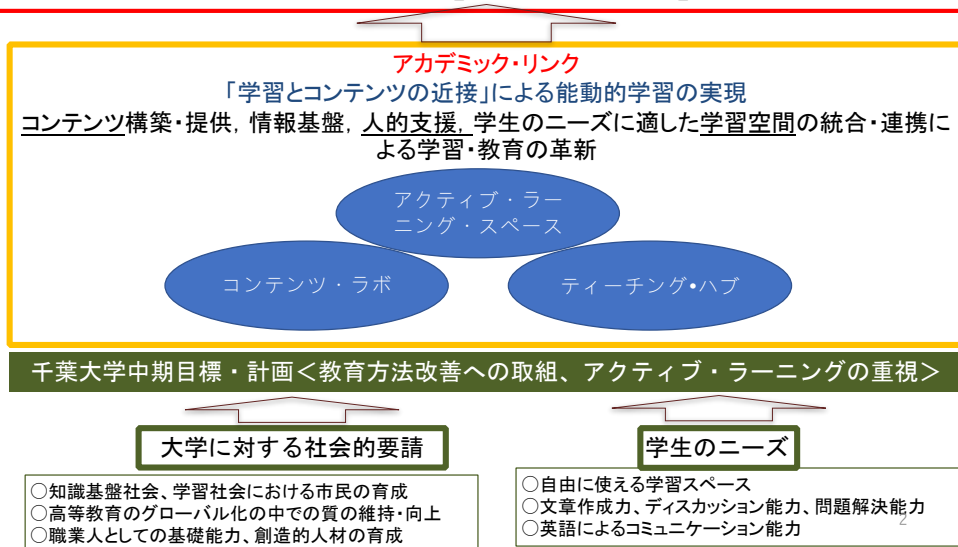


1

アカデミック・リンクによる千葉大学の教育改革

目的:「考える学生の創造」

「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ学生の育成



【学士課程教育の構築に向けて】(平成20年12月24日、中教審答申)

【千葉大学の教育・研究に対する意識・満足度調査報告書】(平成21年度)

アカデミック・リンクの開始

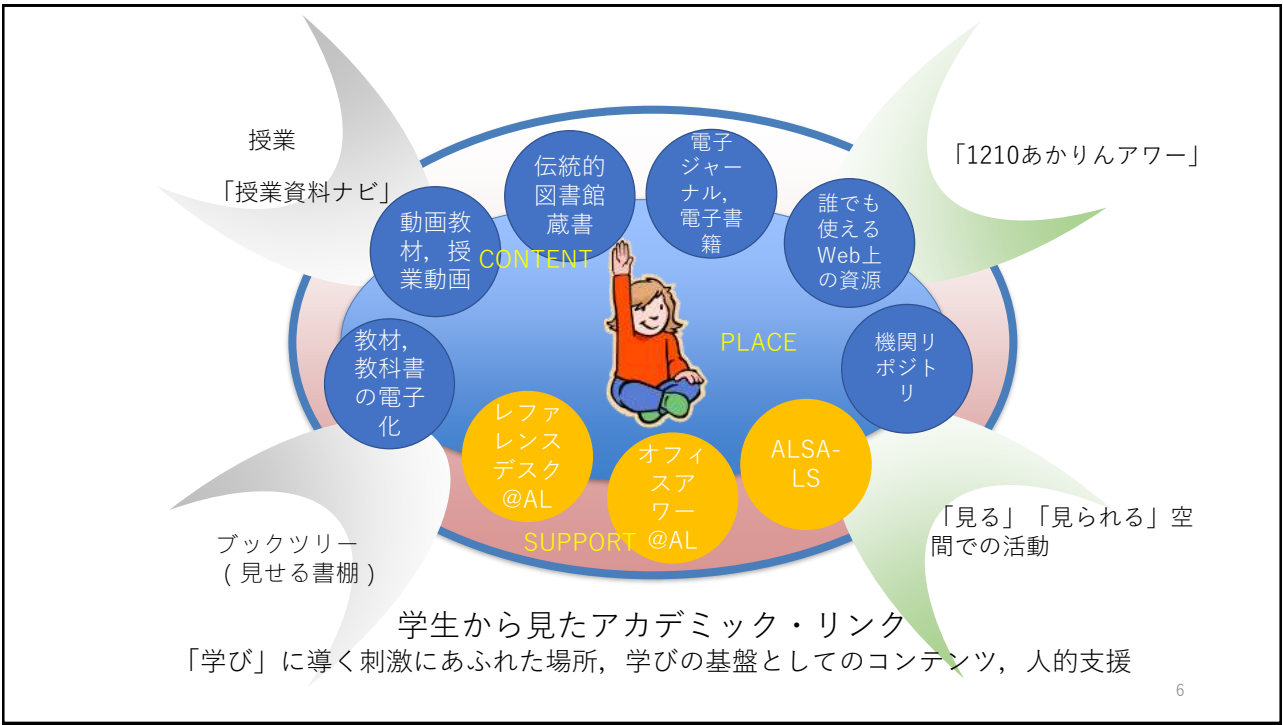
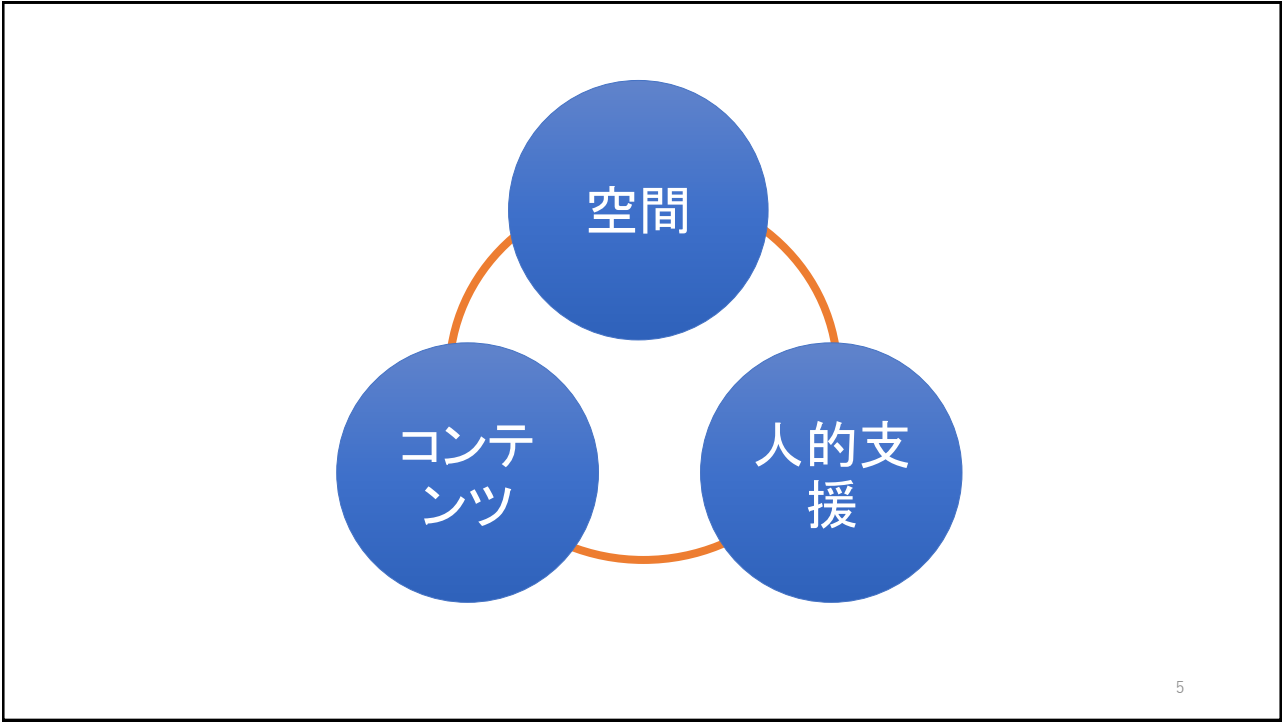
- 附属図書館本館の耐震改修がきっかけ。図書館の面積が国立大学の基準値に達していないことから増築の余地があった
- 2011年4月に、附属図書館・総合メディア基盤センター（現在の統合情報センター）、普遍教育センター（現在の全学教育センター）の協力によってアカデミック・リンク・センターを設置してスタート（研究開発部門・アクティブラーニング推進部門設置）
- 運営費交付金の特別経費の措置（図書館資料費・運営費は別）
- 教養（学部）教育の強化というコンテキスト

3



アカデミック・リンク の概要

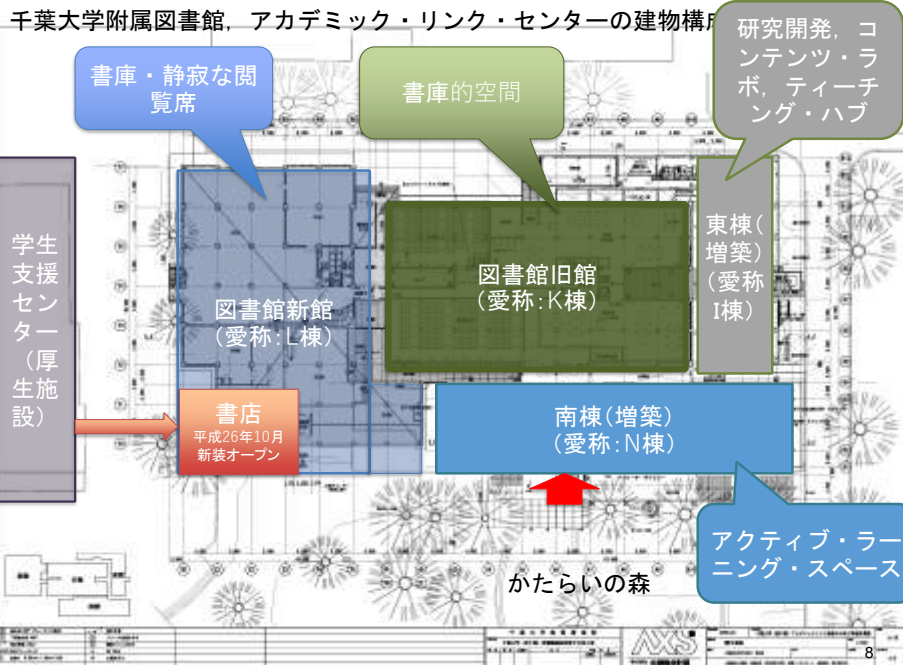
- 西千葉（およそ15,000平方メートル）
- 2010,2011年度予算により「図書館旧館」（1968年竣工）の耐震改修（2011年10月オープン）・アカデミック・リンク機能展開のための増築（現在のN棟・I棟）を実施（2012年3月オープン）
- 2012年度補正予算により「図書館新館」（1981年竣工）の機能改善・増床を実施し・現在のL棟を整備（2014年10月オープン）



空間の考え方

- 開放性・透明性の高い空間（「見る」「見られる」環境）
- 機能分化（静寂空間 / 討議空間）
- 利用における自由度が高い（N棟：机・椅子・ホワイトボードを自由に動かしてよい）
- 多様性の確保
 - PC席も1人使用のみを想定しない
- コンテンツの利用から・プレゼンまでを支援できる場

7



コンテンツの考え方

- 学生が利用したいときに、電子媒体でも印刷媒体でも迅速に入手できるようにする。図書館蔵書にこだわらず、購入も一つの選択肢として考える。教材の作成支援も視野に入れる。
- コンテンツとして以下のようなものを想定
 1. 公刊された出版物に代表される著作物
 2. 著作物の一部（あるいは全部）を再パッケージ化した教材（コースパック）
 3. 授業録画（授業中に提示される著作物がその中に含まれる）
 4. 著作物の一部を利用して、教員が独自に作成した教材
 5. 完全にオリジナル作成された教材

9

人的支援の考え方

- 学生、図書館員、教員によるハイブリッドな人的サポートをスタート。学生、図書館員、教員がどのような役割を担うべきか、試行錯誤的に追求
 1. 「学習支援デスク」(ALSA-LS)
 2. 「PCサポートデスク」(ALSA-TT) (2014年度秋から)
 3. 「レファレンス・デスク」
 4. 「オフィスアワー@アカデミック・リンク」

10

各プロジェクトの概要 (2012～2016)

プロジェクト名	概要
「レガシーコンテンツ再生」プロジェクト	すでに刊行されているパッケージ型メディア(図書、ビデオなど)の電子的再生と学習における利活用のための提供環境を整備する
「デジタルコースパック」プロジェクト	自作教材、著作物の一部など、これまで教室での配布にとどまっていた授業資料の電子的パッケージ化を実現し、提供環境を整備する
「オンラインクラスルーム」プロジェクト	授業の動画配信を中心とするe-learning環境を整備し、実施する
「情報利用行動定点観測」プロジェクト	学生の学習行動と学習成果の関連を、情報利用行動と学習／生活空間の利用状況から継続的、横断的に検証する(調査の実施, 分析)
「参加する学習」プロジェクト	アクティブ・ラーニング・スペースでのコンテンツを利用した「学生による学生のための学習相談」を実現する
「教育力」・「学習力」向上プロジェクト	学生、教職員によるアカデミック・リンク機能についての理解と活用を促し、学習、教育にかかるスキルの向上を実現する(セミナー、シンポジウム、FDの実施)
「新しい図書館員」プロジェクト	学習に関与する新しい図書館員概念を確立するとともに、彼らを中心に、教員、図書館員、学生の協働を基礎とする個別的学習支援モデルを構築し、実施、評価する

11

アカデミック・リンクのユニークさ

- 単なる「**ラーニング・コモンズ**」を超えて
 - コンピューターが並んだ学習空間を提供するだけではなく、コンテンツ、人的サポートを併せて提供する
- 単なる「**授業のデジタル配信**」を超えて
 - 授業を学習を促すための契機ととらえ、授業資料ナビゲータ(パスファインダー)やディスカバリーツールを用いて、多様なコンテンツを利用できるようにする
- 単なる「**本のデジタル化**」を超えて
 - 授業というコンテクストを活用しつつ、図書のみならず、図書の一部や教材もデジタル化して提供する

12

アカデミック・リンクのユニークさ

- 単なる「**タブレット型端末**」の利用を超えて
 - 利用者の多様な利用ニーズに対応できるよう、様々な形態でのコンテンツ提供を実現する
- 単なる「**Learning Management System**」を超えて
 - コンテンツとのシームレスなリンクを提供する
- 単なる「**図書館の改革**」を超えて
 - 教育部門, 情報基盤部門, コンテンツ提供部門の融合による次世代の学習基盤整備をめざす
- 単なる「**千葉大学の教育改革**」を超えて
 - わが国の高等教育における, 学習とコンテンツ利用を融合させた新たな学習環境構築の先導的モデルとなる

13

アカデミック・リンクの初期の評価

- 「学習とコンテンツ（学習のための多様な資料群）の近接による能動的学習」を実現する取組として2011および2012事業年度法人評価において「戦略性が高く、意欲的な目標・計画」として認定
- 中教審答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて』（2012年8月）、「国立大学改革プラン」（2013年11月）、「人材力強化のための教育戦略」（2013年3月）などにおいて、高等教育改革に向けた取り組みの事例として取り上げられた

14

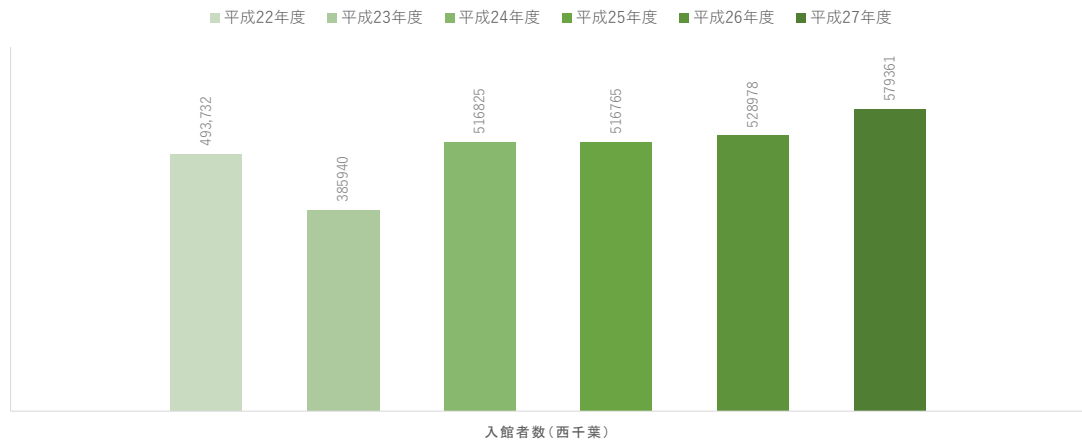
アカデミック・リンクの初期の成果のまとめ

日本の大学における学習環境基盤整備のリーディング・モデルとして学習環境基盤整備・学習（修）支援活動が学生の学習（修）に変化をもたらすことを実証

- 量的変化：学習時間の伸び、学生の満足度の伸び、図書館滞在時間、入館者数の伸び
- 学修プロセスの質的变化を誘発

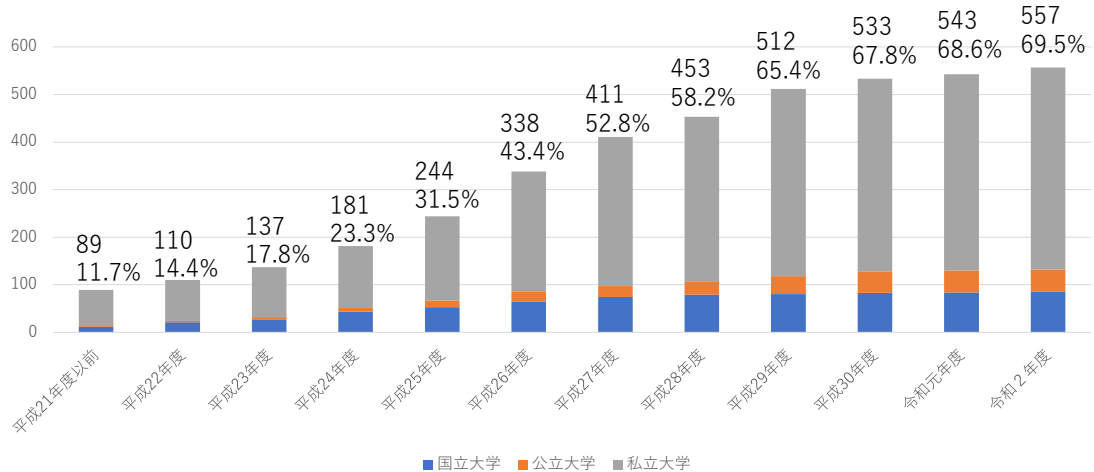
15

入館者数の変遷



16

大学図書館におけるアクティブラーニングスペースの設置数/普及率



(出典：「学術情報基盤実態調査報告」)

千葉大学 ビジョン 2015- 2021

世界水準の教育研究機能を有する未来志向型総合大学

Global 国際社会で活躍できる次世代型人材の育成

- 国際未来教育基幹の創設による世界水準の教育実践と次世代型人材育成
- 「グローバル千葉大学の新生」(スーパーグローバル大学等事業)の着実な実施
- 国際的なネットワークの構築による教育研究拠点の創成

Research 研究三峰(トリプルピーク チャレンジ)の推進

- グローバルプロミント研究基幹の創設による最先端の次世代研究への戦略的支援
- 京葉キャンパス高機能化構想による治療学創成に向けた未来医療研究拠点形成
- 文理の枠を超えた融合型研究の推進

Innovation 次世代を担うイノベーションの創出

- イノベーションの創出に向けた産学連携研究の推進・強化
- 研究成果の社会実装へ向けた知的財産の確保と活用
- イノベーション創出人材の育成と組織改革

Branding 千葉大学ブランディングの強化

- 卓越した教育・研究力による国際的な信頼の向上
- 戦略的広報活動の推進
- 卒業生・企業・社会等との連携強化

Synergy 教職員による協働体制の強化

- 戦略的な大学運営に向けたガバナンス機能の強化
- 多様な人材(ダイバーシティ)の活用による教育研究活動の活性化
- リスクマネジメントシステムの充実

TOKUHISA PLAN 2015-2021

- 「千葉大学ビジョン2015-2021」を実現するための具体的方針
 - アカデミック・リンク・センター
 - アクティブ・ラーニングの推進
 - 学習支援機能の充実
 - アカデミック・リンク機能の全学展開

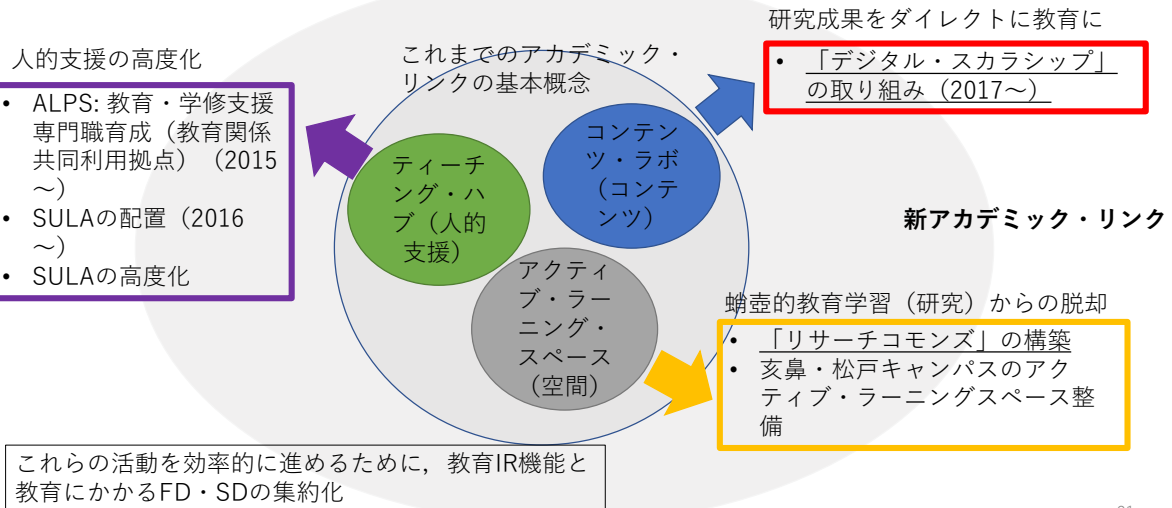
19

アカデミック・リンク の全学展開

- 松戸（およそ1,000平方メートル）
 - 以前の建物は1963年竣工（増築1983年）。増築部分を園芸学部事務棟として再生するとともに、老朽化が進んでいた共同実験棟の機能も含む形で2020年に竣工。
 - 「アカデミック・リンク松戸」として新機能を展開中



「考える学生の創造」から「深い専門性と俯瞰的思考力を備えた『知のプロフェッショナル』育成」へ



21

『知のプロフェッショナル』育成

- 従来の学部教養教育レベルの教育・学修支援を学部専門教育、大学院を対象としたものに拡張
- 大学院レベルでは、各研究科では個別には提供できない、新しい全学的な教育・学習基盤を開発・提供することで大学院教育の質的向上を実現し、千葉大学が取り組んでいる教育戦略を強力に推進して深い専門性と俯瞰的思考力を備えたグローバルに活躍する知のプロフェッショナルを育成
- これらの活動を効率的に行うために、教育IR機能を強化・集約化し同時にFD, SDを集約化し、千葉大学における教育革新具体化のエンジンとして機能

22

デジタル・スカラシップの推進：我が国初のアプローチ

研究のエビデンス・探索手法・研究実践・成果公表・研究資源の保存など、研究及び学術的目的を達成するために必要な活動を全てデジタル基盤の上で行うこと。特に学術コミュニケーションのデジタル化とデジタル・メディア上での研究・教育・学習を実現するための支援に重点。コロムビア・ブラウン・ミシガンなど北米の主要大学でそのための組織が作られ、デジタル環境での研究・教育・学習を実現するための活動が展開中。



マクマスター大学（カナダ）：Lyons ニューメディアセンター。大型のディスプレイを使った討議、メディア編集が並行して行われている。

マクマスター大学では、地図情報の電子化に力を注いでいる。

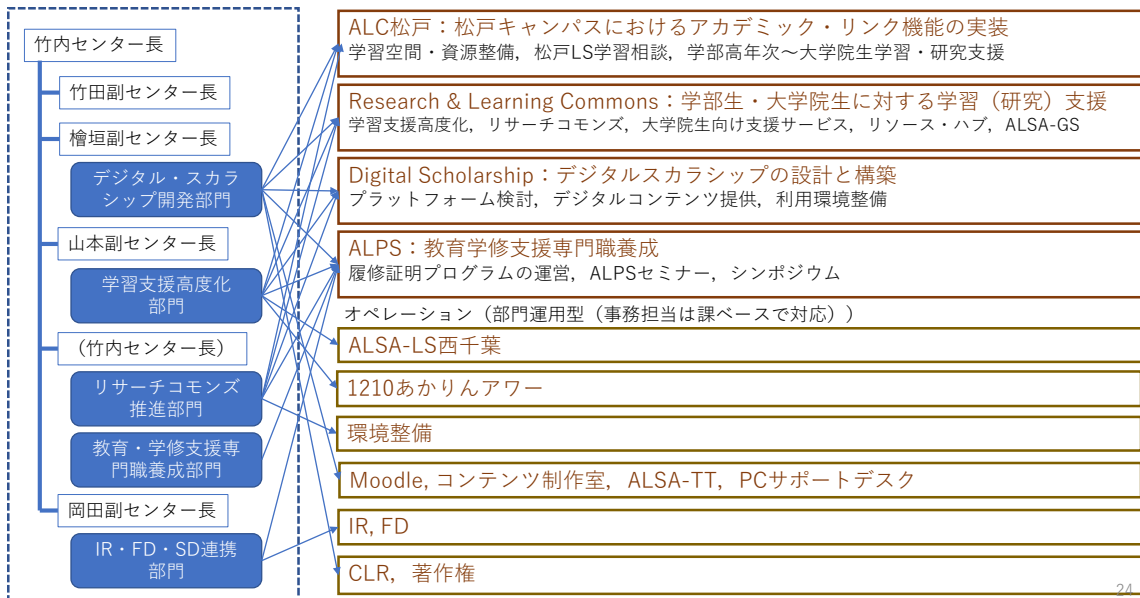


23

アカデミック・リンク活動体制（2017年度以降）

組織

プロジェクト=センター長直属（部門横断・新規開発型）



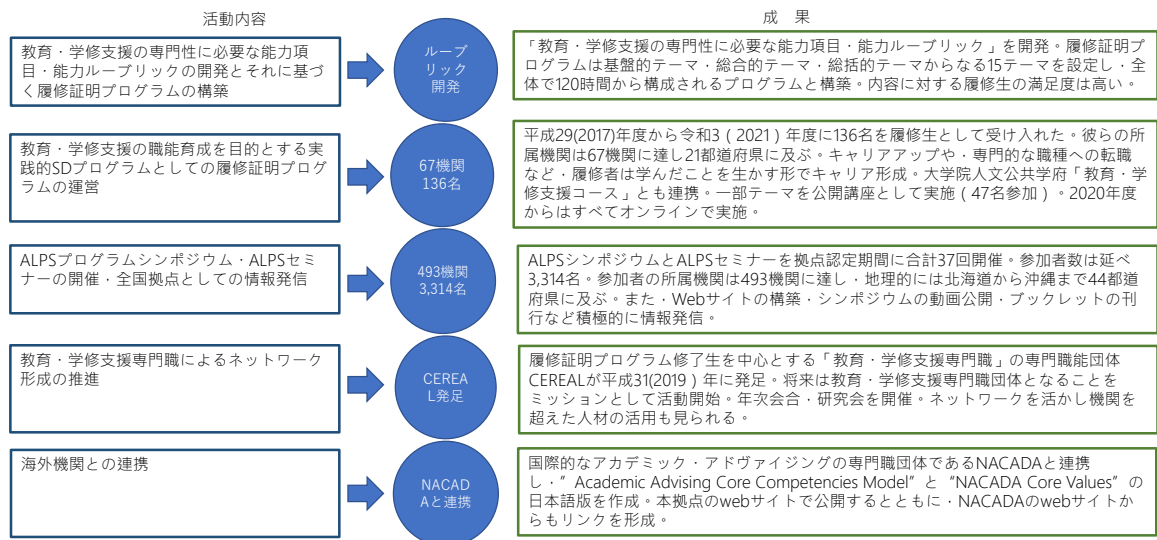
24

ALPSプログラム

- 「新しい図書館員」プロジェクトの発展
- 2015年度スタート。人的支援活動の延長として、主として職員を対象として、教育・学修支援のための専門職能養成のためのプログラムを企画・実施
- 文部科学大臣より教育関係共同利用拠点「教職員の組織的な研修等の共同利用拠点（教育・学修支援専門職養成）」として2015年7月に認定（2016年（拠点名「教育・学修支援専門職を養成する実践的SDプログラムの開発・運営拠点」）および2021年（拠点名「新たな時代の大学教育を創造する「教育・学修支援専門職」養成拠点」）に再認定。2027年3月まで）
- 2017年度より、履修証明プログラムを開始

25

教育関係共同利用拠点としての活動（2015-2021年度）



総参加者数：3,314+136+47名 共同利用機関数：493機関*

アカデミック・リンク 教育・学修支援専門職養成プログラム
ACADEMIC LINK PROFESSIONAL STAFF DEVELOPMENT PROGRAM BY SELECTIONAL AND LEARNING SUPPORT

*機関数については
2016年度以降

26

Teaching Fellow制度

- 将来の大学教育において指導的な役割を担いうる人材の育成・大学教育の充実・学生の処遇の改善を目的として・TA・SAとは異なるTeaching Fellow制度を2020年から本格的に導入
 - 事前研修が必要
 - プレFD科目である「大学教員養成講座」の履修によって事前研修に代えることができる

27

「千葉大学グローバル人材育成” ENGINE”」プラン(2020~)への対応

- 「全員留学」と「スマートラーニング」の実現がENGINEの中核
- スマートラーニング実現に向けて
 - アカデミック・リンク・センター(ICT推進委員会)において・Moodleを中核としたeラーニング環境の整備を検討(2018年度)
 - 動画配信のためのHLS導入などの検討(2019年度)
 - スマートオフィスの発足(2020年4月)

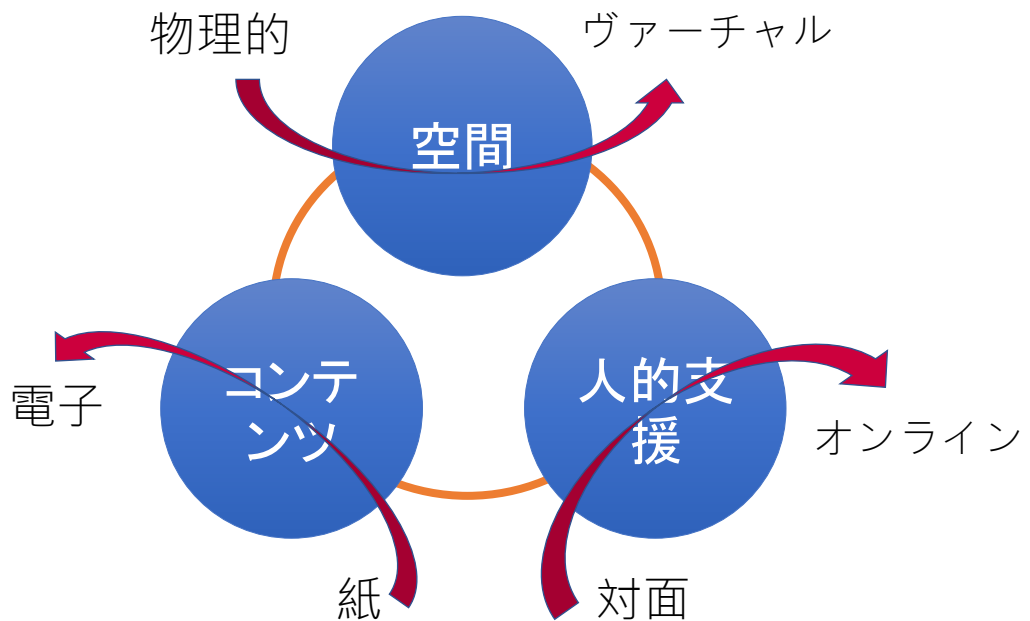


結果的に・スマートオフィスとアカデミック・リンク・センターがコロナ禍でのオンライン授業実施のための支援の中核として対応

28

コロナ禍の下での対応

29



コンテンツのオンライン化

- 電子書籍の積極的導入
- 学認未対応のデータベース・電子ジャーナルへの学外からのオンラインアクセスを可能にするために、統合情報センターが提供する研究用VPNとは別に簡易なVPNを導入
- 授業のICT化への支援として「授業目的公衆送信補償金制度」への対応

31

人的支援のオンライン化

オンライン学習支援ポータル EYeL!

- 遠隔学習サポートのポータルとして、オンラインで使用できるコンテンツやサービスを掲載
- ALC / 図書館のオンラインサービスの見える化を推進
- COVID-19対応として短期間で作成したため、学生の意見なども聞きながら随時改訂

Encourage YOUR e-Learning!
オンライン学習支援ポータル

このウェブサイトは、千葉大学の学生がみんなが「メディア授業」を楽しく学べる、オンラインで授業録を視聴したり、レポートを書いたり、調べものを行うための各種サポートをまとめたポータル・サイトです。

千葉大学で提供している「インターネット（一部無料）」を活用して、誰でもどこからでも利用できる電子書籍・オンライン相談・動画等のリンクを集めています。授業の前後の学びに活用してください！

サイトの内容についてはこちら

——千葉大学が提供する「オンライン・センター」の相談窓口

このウェブサイトは、現在運行中と確認中です。そのため、コンテンツ（記事や記事）が掲載されない状態になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

ネットで相談・レポート書きを学ぶ ネットを上手に調べろ 初心を築き立てる1年生

学習相談・英語相談・調べもの相談

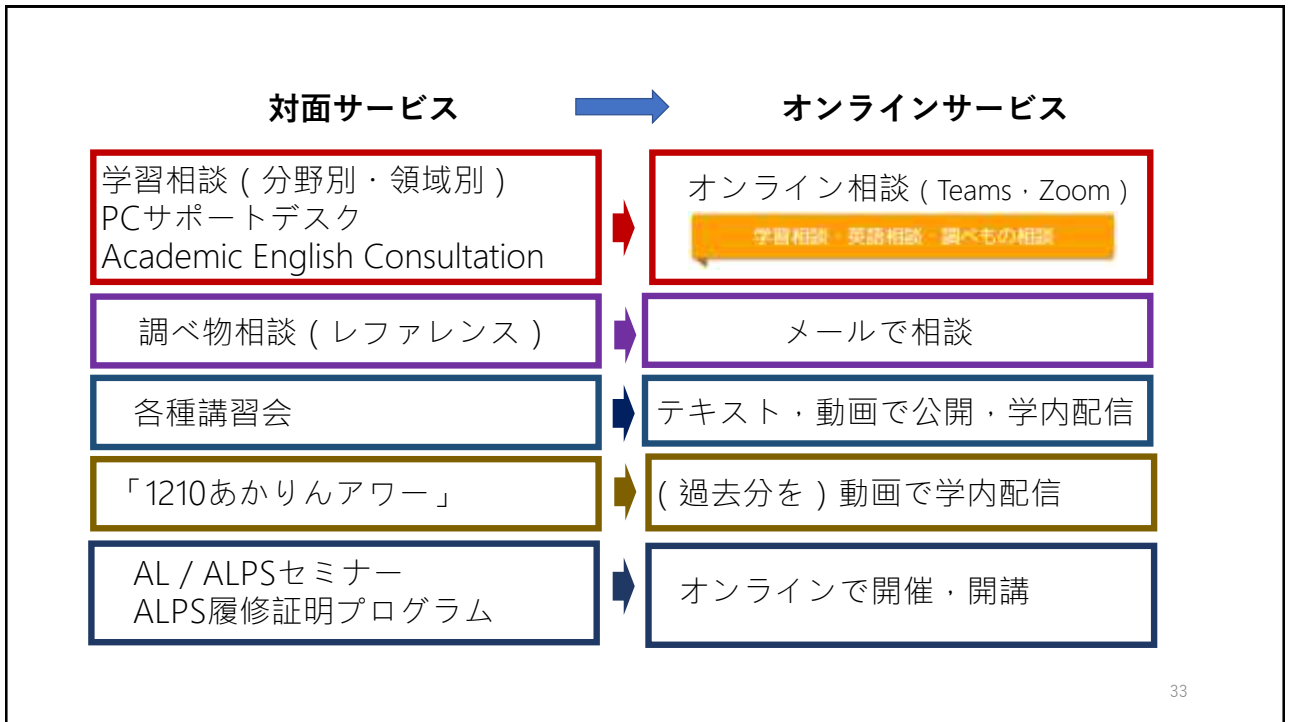
学び上の悩み・相談・レポートについて相談する

卒業のレポート・論文の書き方を相談する

資格の準備・入試方法を相談する

社会制作の悩みを聞いて相談する

32



総合的な評価

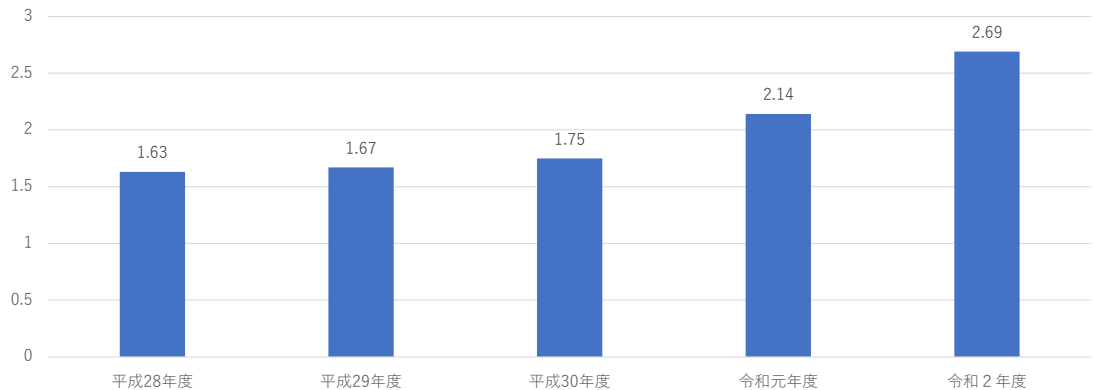
授業におけるアクティブ・ラーニング手法の 広がり（2020年度）

学部	科目数	AL型 科目割合	AL-O (従来の講義型)	AL-I (活動導入型)	AL-E (意見交換型)	AL-PI (相互教授型)	AL-C (課題共同型)	AL-PF (実演型)	AL-R (課題探求型)
国際教養学部	162 (174)	88.51%	4.60%	63.79%	47.13%	27.59%	49.43%	28.74%	16.67%
文学部	601 (603)	97.84%	0.33%	31.28%	11.65%	0.83%	37.10%	37.27%	39.43%
法政経学部	344 (391)	76.47%	11.25%	41.18%	33.76%	30.18%	36.06%	18.16%	24.81%
教育学部	1041 (1041)	94.33%	5.57%	43.61%	35.83%	18.64%	26.22%	37.46%	16.62%
理学部	420 (383)	82.62%	16.19%	50.95%	20.48%	15.00%	17.38%	29.76%	12.86%
工学部	732 (732)	67.35%	28.69%	41.94%	12.30%	6.69%	12.02%	24.45%	10.11%
園芸学部	302 (289)	84.77%	14.90%	26.82%	23.51%	7.28%	33.44%	39.07%	26.49%
医学部	46 (46)	86.96%	13.04%	34.78%	36.96%	26.09%	30.43%	54.35%	13.04%
薬学部	157 (157)	78.98%	21.02%	61.15%	51.59%	45.22%	56.05%	56.69%	45.22%
看護学部	111 (110)	98.20%	1.80%	70.27%	61.26%	29.73%	47.75%	36.94%	31.53%
普遍教育科目	1668 (1923)	89.03%	10.97%	78.42%	22.72%	13.85%	0.24%	65.71%	3.06%

35

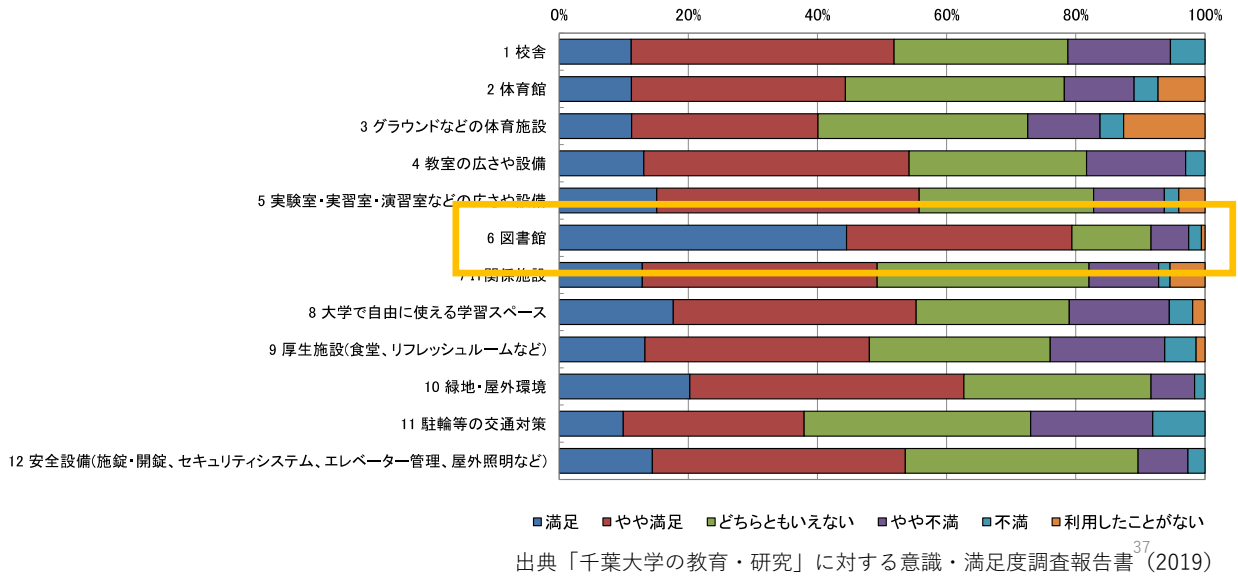
学生の授業外学習時間

1日あたりの授業外学修時間

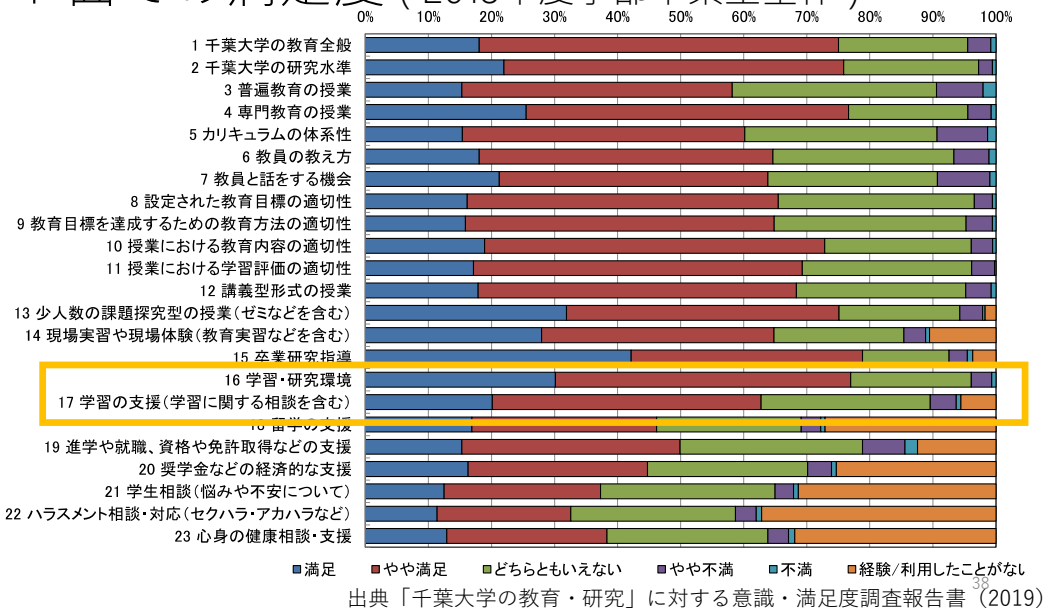


36

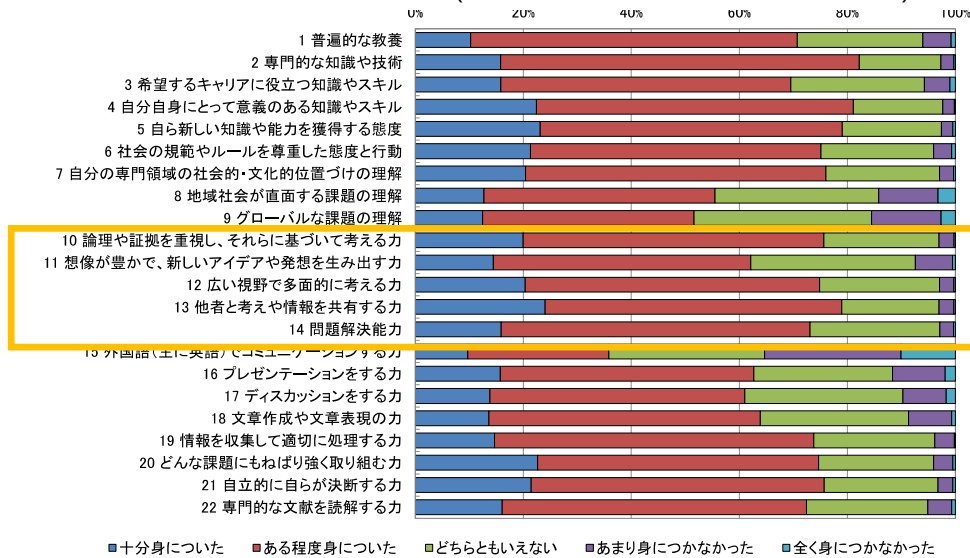
ハード面での満足度 (2018年度学部卒業生全体)



ソフト面での満足度 (2018年度学部卒業生全体)



何が身に付いたか？（2018年度学部卒業生全体）



39
出典「千葉大学の教育・研究」に対する意識・満足度調査報告書（2019）

アカデミック・リンク機能の全学展開

- 松戸におけるアカデミック・リンク機能
 - 「アカデミック・リンク松戸」という物理的な場の実現
 - 学部専門課程・大学院を対象とした人的支援の試行
- 亥鼻におけるアカデミック・リンク機能
 - 物理的な場については、亥鼻キャンパス整備の中で今後検討
- 人的支援のオンライン化による全学展開
 - Academic English Consultation (オンライン) への、亥鼻・松戸からの参加増→人的支援のハイブリッド化をデフォルトに

これからの展開

41

世界に冠たる千葉大学へ

-Towards a world preeminent academic institution-

Chiba
University
Aspirations

国際頭脳循環の中核として 世界最先端の研究を展開

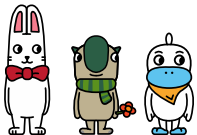
World
Leading
Research

- ▶ 学問の多様性を尊重し独創的な研究を推進
- ▶ 学際研究領域を開拓する世界水準の学術研究を推進
- ▶ 新たな価値を創造するイノベティブな研究を推進
- ▶ 国際高等研究基幹による戦略的な研究教員組織を構築

運営基盤を強化し、 持続的な発展を導く大学経営

Holistic
Governance

- ▶ デジタル・トランスフォーメーション(DX)による戦略的な大学運営
- ▶ 個々の力を引き出し、協働体制で競争力を強化
- ▶ 誰もが生き生きと活躍できる多様性のあるアカデミア環境を構築
- ▶ 戦略的広報活動と社会資源の有効活用



Global
Education

世界に学び世界に 貢献する人材の育成

- ▶ 世界をキャンパスに最先端を学修できる優れた教育環境を提供
- ▶ グローバル社会のリーダーたる資質とチャレンジ精神を涵養
- ▶ 幅広い教養と豊かな知性ととも高度な専門性を錬磨
- ▶ 国際未来教育基幹の強化による最高水準の先進的教育基盤を構築

Social
Engagement

社会に大きく貢献する 千葉大学

- ▶ 高度な研究成果や優れた人材の育成を通じて社会の持続的発展に貢献
- ▶ 卓越した知と人材の集積拠点として環境や地域社会に貢献
- ▶ イノベーションの創出に向けた産学官連携の強化
- ▶ 世界をリードする千葉大学ブランドの定着

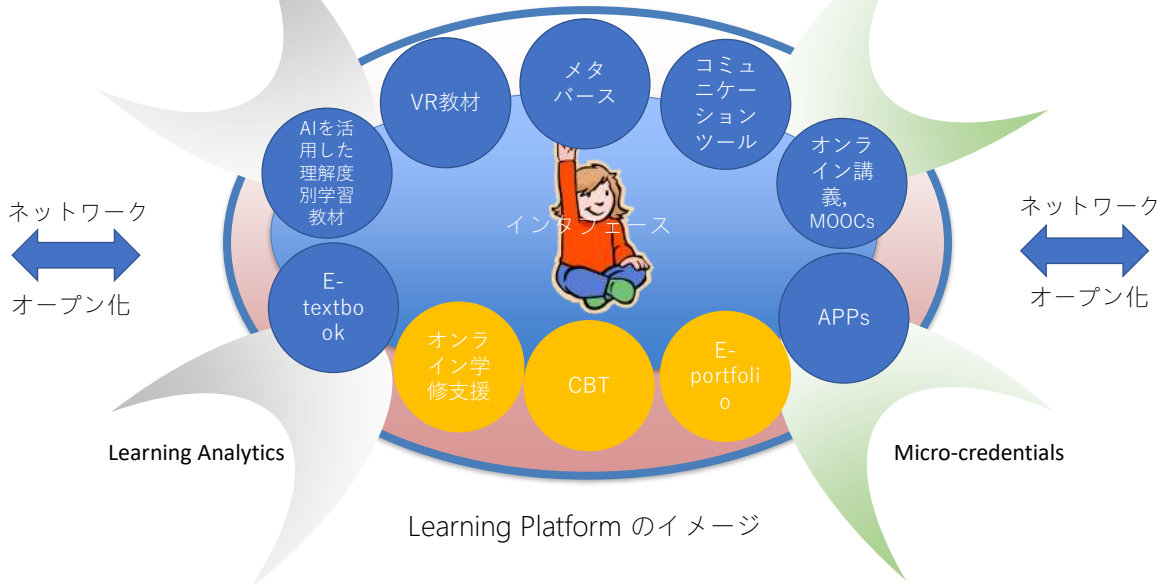
 CHIBA
UNIVERSITY

ポストコロナ時代における教育・学修支援

- 「学修者本位の教育」理念の実現
 - 一人一人の学修者に寄り添っていきけるか
- 教育のデジタルトランスフォーメーションへの対応
 - 提供するコンテンツのデジタル化を前提
 - 今行っているサービスをデジタル形式に置き換えるという発想ではなく、デジタル技術を用いた合理的な手段の導入
 - 合理化できる支援 / 人でなければできない支援の明確化

43

「いつでも・どこでも・誰とでも学ぶことができる」



44